

社会福祉法人 目田市社会福祉協議会

社協だより



2020.11.15
第94号

天瀬 桜滝ライトアップ

ライトアップ時間 18:00~21:00



- 災害から復興へ…………… P 2
- 歳末たすけあい運動…………… P 3
- 成年後見・災害ボランティア講座開催… P 4
- 「あったらいいな」を考える… P 5
- 市民健康福祉まつり開催…………… P 6
- 災害ボランティア受講生募集・福祉推進大会開催… P 7
- 寄付のお礼・掲示板…………… P 8

災害から復興へ

各地で頻発する自然災害。数十年に一度と言われる規模の災害では、尊い命や住み慣れた環境が一気に奪われます。金銭面はもとより、復旧復興までの長い道のりで欠かせないのがヒトの力です。被災地を支援しようと大勢駆けつける災害ボランティアの声は、復興の槌音にも聞こえます。そこで今回は、災害ボランティアの変遷について注目してみましよう。



R2年7月豪雨災害での災害ボランティア



橋脚が倒壊した阪神高速道（阪神淡路大震災）

1995年（平成7年）1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、延べ137万7,300人のボランティアが全国から駆けつけました。この年は日本における「ボランティア元年」と言われています。同年7月、政府は国の「防災基本計画」に「防災ボランティア活動の環境整備」「ボランティアの受入れ」に関する項目を追加。また、震災を契機として、「防災とボランティアの日」（毎年1月17日）、「防災とボランティア週間」（1月15日から21日）が設けられた。同年12月の災害対策基本法の改正のなかでは、「ボランティア」という言葉が我が国の法

律に初めて明記されました。2016年（平成28年）4月の熊本地震では延べ12万人以上、2017年（平成29年）7月の九州北部豪雨では延べ63,000人以上、また、今年7月の令和2年7月豪雨災害では延べ33,000人以上の災害ボランティアが活動。いまや災害ボランティアは、早期の生活再建に欠かせない存在となっております。



熊本城飯田丸五階櫓（熊本地震）

また、災害ボランティアセンターは、これまで災害発生時のみ設置されていましたが、京都府・京都市では、2007年（平成19年）5月に常設の災害ボランティアセンターを設置しています。こ

れを皮切りに、いまでは全国で15の都道府県に災害ボランティアセンターが常設されています。他にも、最近では市町村域で関係団体が連携し、「災害ボランティアネットワーク」を組織する動きが活発になっていきます。



H24年九州北部豪雨での災害ボランティア



日田市でも一昨年2月に「日田市災害ボランティアネットワーク協議会」を発足。泥出しや床はがしなど、災害で使う資機材を使った体験学習に取り組んでいます。また、令和2年の豪雨災害では、被害を乗り越える新たな取組みも生まれました。その一つが、



あまみら食堂のメンバー

天ヶ瀬温泉未来創造プロジェクト（通称あまみら 代表 近藤真平さん）です。地元メンバーを中心に、天ヶ瀬温泉街の再興に働き合っています。被災後まもなく食堂の開設や、炊き出しを実施。また、防犯対策を兼ねた竹灯りプロジェクトを企画。夜の温泉街に1,300個の竹灯籠を灯しました。

現在は、住民の憩いの場「シェアキッチン」をつくろうと、空き店舗を改装中。温泉街の賑わいを取り戻す試みにチャレンジしています。ボランティアも募集しているので、興味のある方はあまみらの公式フェイスブック (@amamira0707)を検索)をご覧ください。



地域歳末たすけあい運動

12月1日(火)～12月31日(木)



「歳末たすけあい運動」は、赤い羽根共同募金運動の一環として、毎年年末に、市町村を単位に全国で行われる募金運動です。新たな年を迎える年末の時期に、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの理解と参加を図るものです。日田市内でお寄せいただいた寄付金は、地区社会福祉協議会が行う歳末たすけあい事業の費用として、地域の福祉活動に役立てられます。

歳末たすけあい事業の様子



例年、日田市内では、この期間に地域のお祭りやイベント、商業施設や駅前などで、学生や団体などによる街頭募金が行われます。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、街頭募金を中止することとしました。そこで、商業施設などにご協力いただき、募金箱を設置させていただきました。



今年も皆様のご支援・ご協力よろしく申し上げます

成年後見制度学習会を開催

〔成年後見制度って何?〕

10月6日(火)、日田市総合保健福祉センターで日田市民生委員児童委員協議会会長を対象に成年後見制度学習会を開催しました。

学習会では、成年後見制度の解説からスタートし、後見人の役割や相続に関わる留意点などを細かく説明。終盤は、講座のまとめとして、後見人申立て事例や手続き方法の流れなどを振り返りました。

参加者からは「自分ももし、判断能力が低下した場合でも、権利が守られ、暮らしていけるということがわかって、安心しました」

「相談業務の中で、本日も学んだことを活かしていきたい」「さらなる制度の普及啓発が必要だと思ふ」等の声が聴かれました。



たとえばこんなことでお困りではないですか？

頼れる親族がいない
将来が心配

自分が亡くなった後、
障がいがある子供の
生活が心配

一人暮らしの父親が
認知症になった。病院の
支払いなど、どうしたら
いいか心配

成年後見制度について
知りたい

福祉サービスの
手続きが心配

お気軽にご相談ください。

「成年後見センターひた」では、制度の普及啓発・広報活動も行っています。地域の団体・自治会等で制度に関する学習会など希望される方は、ご相談ください。

☎0973・24・7026

●●● 災害ボランティア講座開催 ●●●

10月18日(日)、天瀬町で、災害ボランティアの基礎知識を学ぶ「災害ボランティア講座」を開きました。

午前中は、「令和2年7月豪雨災害」による天瀬町の被災状況や復興に向けての取組みについて説明。床下の泥出し体験や被災地で活用される資機材の実体験も行いました。午後は、被災した家屋の壁塗りや写真洗浄を学びました。



◀ 資機材の説明



床下の泥出し体験▶



写真洗浄(左)や壁塗り(下)の体験を行う参加者



参加者から「自分たちにもできる支援があることがわかってよかった」等の声が聴かれました。

参加者の皆様、お疲れさまでした。



「あったらいいな」を考える

『支え合い』で地域を元気に

みなさんは「地域にこんなものがあつたらいいな:」と思つたことはありますか?若い人はショッピングモールや娯楽施設を思い浮かべるかもしれません。

それでは、高齢者や皆さんの地域にとつて「あったらいいな:」というのはどんなものがあるでしょうか?



●昔と今

「昔は隣の家に醤油や米を借りに行つていた」という話をよく聞きます。今では想像できないような近所付き合い合いです。

また、町内活動なども活発に行われており、強い地域のつながりがありました。そのため、ちよつとした助け合いや支え合いが地域の中で自然に行われていました。

一方、地域のつながりが希薄になつたといわれる昨今、高齢者は地域から孤立しがちです。また、

一人暮らしの高齢者は、生活のちよつとしたことができずに困つているという話も聞きます。

●「あったらいいな!!」

そういった中、高齢者や自分の地域に「あったらいいな!!」という仕組みや支え合い活動を、地域住民で創る取り組みが全国的に始まつています。公的なサービスだけに頼るのではなく、地域で高齢者等の生活を支えるというものです。

支え合い活動の代表的な例としては、「サロン(ミニデイ)」や「見守り活動」などがありますが、移動支援や買い物支援にまで発展している地域など様々です。



●支え合い活動が高齢者を元気に!!

ある調査結果で、健康長寿のポイントとして「栄養」「運動」「社会参加」という三つの柱があ

り、中でも「社会参加」が重要な要素だということがわかりました。高齢者が地域の中でいきいきとした生活を送ることができれば、健康寿命が延びるということです。

他方で、高齢化が進み支え手が減るこれからの社会では、「支える側」と「支えられる側」ではなく、「支え合い」が求められています。

つまり、高齢者が『支え合い』活動を通じて地域の中でいきいきとした生活を送ることができれば、高齢者も地域も元気になるということになります。



●生活支援コーディネーターがお手伝いします!

日田市社会福祉協議会には生活支援コーディネーターが2名配置されています。別名を「地域支えあい推進員」といい、地域の『支え合い』づくりを皆さんと一緒に考え、お手伝いします。

地域の実情により、必要な支え合い活動も様々です。

まずは地域の「あったらいいな」を一緒に考えましょう!!

地域の『支え合い』づくりを「生活支援コーディネーター」がお手伝いします!

- ◆ 地域づくりについて一緒に考えましょう!
- ◆ 皆さんの声を聞かせてください!
- ◆ 地域の「あったらいいな」を一緒に作りましょう!
- ◆ 皆さんの地域での活動を教えてください!



連絡先: 24-7026 担当: 伊藤・松本

第24回 市民健康福祉まつり開催！



社会福祉事業協力者
松本 正則 氏（東有田町）
（写真は代理で登壇された奥様）

10月11日、パトリア日田で、「第24回市民健康福祉まつり」が開催されました。

今年は、社会福祉及び保健事業の増進に貢献された方々の表彰式典のみが行なわれました。

受賞された皆様、おめでとうございます。



社会福祉事業協力者で受賞されました松本正則氏（松野町）にご自身がやってこられたことなどをお聞きしました。

松本氏は、6年ほど前に脳梗塞を発症。リハビリ目的で自宅の草取りをしていました。そのうち、自宅周辺の草も気になり、道沿いの草を刈り始めたそうです。それから、少しずつ範囲を広げながらまちの清掃活動をするようになったといいます。

その後、市道池辺・松野線、下林・松野線や町内里道の草取り、道路施設等の清掃活動を続けていました。

今回、松本氏は手や足に障害を



抱えるなかで、長い年月にわたって、町内環境の整備に貢献されてきたことで受賞されました。「賞をいただくようなことはしていないけれど」と謙遜まじりに、時折笑顔で、話を聞かせてくれました。

今は、以前のように体が動かず、清掃活動も中止をされているそうですが、体が動く範囲内でできることをやっていくと前向きに話されていました。

第2回 災害ボランティア講座開催 受講生募集

炊き出し・災害復興編



令和2年7月豪雨災害では、市内・県内から多くの皆様にボランティア活動に携わっていただきました。

この先、災害に備えて、今年度も災害ボランティア講座を開催しています。第1回目の講座参加者は、21名でした。第2回目は、復旧期における炊き出し・配給の実習を予定しています。是非ご参加ください。

(新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの開催となります)

- **日時**：12月20日(日) 午前9時～15時
- **場所**：天瀬公民館(天瀬振興局内)
(住所：日田市天瀬町桜竹671-2)
- **対象・定員**：20名・市内在住の中学生以上
(中学生は保護者同伴/定員になり次第締め切ります)
- **参加費**：無料
(ボランティア保険未加入者は、保険加入代350円別途必要)
※昼食は持参不要
- **主催**：日田市
- **企画・運営**：NPO法人リエラ
- **共催**：日田市社会福祉協議会
- **備考**：初心者・女性・若者大歓迎。
エプロン・三角巾or帽子・マスクの持参をお願いします。
- **問合せ先**：まちづくり推進課
市民協働・男女共同参画推進係
TEL：22-7515



第15回 大分県地域福祉推進大会 開催

10月16日(金)別府市ビーコンプラザで、第15回地域福祉推進大会が開催されました。

大会では、永年にわたり大分県の社会福祉の発展にご尽力され、多大な功績を残された方々への表彰が行われ、日田市から次の方々が受賞されました。おめでとうございます。

- **大分県知事表彰** (敬称略)
*ボランティア功労者(1名)
樋口健一郎
- **大分県知事感謝状**
*民生委員・児童委員(3名)
野鶴康比古/冷川禮子/矢野智子
- **大分県社会福祉協議会会長感謝状**
*ボランティア功労者・功労団体(1団体)
日田ハーモニカ愛好会
- **大分県共同募金会会長感謝状**
*篤志寄付者・団体(2団体)
サッポロビール株式会社九州日田工場 / 国際ソロプチミスト日田



寄付のお礼

日田市社会福祉協議会に次の方々からご寄付をいただきました。ご芳情に対し、厚くお礼申し上げます。

この浄財は、社会福祉事業を推進するために、有意義に活用させていただきます。なお、市社会福祉協議会へのご寄付は、所得税の控除対象となります。

敬称略

*ご本人の承諾を得て、金額、氏名等を掲載いたしております。

▼香典返し（9月1日～10月31日）

日田本所受付分

- 3万円 坂本 郁雄 亡父 春二 (小迫)
- 10万円 高瀬 正次 亡妻 アツコ (高瀬本)
- 5万円 佐藤 智寛 亡父 正寛 (中城)
- 3万円 用松 忠信 亡母 エミ子 (清水)
- 3万円 三笠善次郎 亡妻 恵子 (中尾)
- 5万円 永瀬与志弘 亡母 美代子 (吹上)
- 10万円 首藤 洋介 亡妻 房子 (淡窓一)
- — 一市民
- 3万円 廣瀬恵美子 亡夫 正美 (三池)
- — 一市民
- 3万円 東堂 明子 亡夫 徳之 (田島一)
- 5万円 小野 敏彦 亡父 哲男 (小迫)
- — 佐藤 研二 亡母 百合子 (淡窓二)

大山支所受付分

- 5万円 高村 四郎 亡妻 マサ子 (西大山)
- 3万円 矢野 文玲 亡父 恒雄 (東大山)

天瀬支所受付分

- 3万円 穴井 清悟 亡母 カヲ (馬原)

- 2万円 河津 雄次 亡母 富 (本城)
- 5万円 河津 進児 亡義父 江田信秋 (中央一)
- 5万円 相良 幸雄 亡母 トモ子 (馬原)

▼一般寄付等（9月1日～10月31日）

- — 一市民
- 10,000円 天瀬ひまわり会 災害支援金として (天瀬町)

● 株式会社 トライ・ウッド
代表取締役 相垣昭二郎
歩行器2台を社会福祉事業へ寄付いただきました。



● 浄土宗 大分教区
米95kgを社会福祉事業へ寄付いただきました。



掲 示 板

弁護士による無料相談事業

| 日 程 | 時 間 | 場 所 |
|---------------------------------|--------------------------|---------------|
| 12 / 4 (金) (受付11/24(水)8:30~) | 13:00~17:00 定員8名(先着順) | 日田市総合保健福祉センター |
| 1 / 8 (金) (受付12/21(水)8:30~) | 13:00~17:00 定員8名(先着順) | 日田市総合保健福祉センター |

※事前に予約が必要です。

無料障害年金相談

| 日 程 | 時 間 | 場 所 |
|------------|-------------|---------------|
| 1 / 28 (木) | 13:30~16:00 | 日田市総合保健福祉センター |

ひた生活支援相談センター巡回相談

| 日 程 | 時 間 | 場 所 |
|-----------|------------|-----------------------|
| 12/8 (火) | 1 / 12 (火) | 9:30~11:30 大山総合福祉センター |
| 12/10 (木) | 1 / 14 (木) | 9:30~11:30 天瀬総合福祉センター |
| 12/21 (月) | 1 / 18 (月) | 9:30~11:30 中津江公民館 |
| | | 13:00~15:00 上津江支所 |
| 12/17 (木) | 1 / 21 (木) | 9:30~11:30 前津江支所 |

歳末たすけあいチャリティショー 中止のお知らせ

歳末たすけあいチャリティショーは、12月1日から行われる「歳末たすけあい運動」のPRや募金活動の促進を目的として、毎年開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年は「中止」することになりました。

イベント開催を楽しみにして下さっていた皆様には大変申し訳ございませんが、諸般の事情をお汲み取りいただき、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



社協だよりひたは資源循環のため印刷再生紙を使用しています。また、環境にやさしい「植物油インク」を使用しています。